

科 目 名		心理学			単 位 数	1	履修区分	必 履 修
対 象 の 部		午 前 部	午 後 部	夜 間 部	使 用 教 科 書 教 材	本校作成テキスト		
履 修 の 条 件								
先 生 か ら の ・ ア ド バ イ ス		この授業を通して、お友達をつくる方法を見つけましょう。						
評 価 の 観 点		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学ぶ態度		
観 点 の 内 容		評価を行わない		評価を行わない		評価を行わない		
評 価 方 法								
学 期	月	学 習 内 容（単元名）		評 価 規 準				
前 期	4	心理学について 授業の受け方		評価を行わない		評価を行わない		評価を行わない
	5	心の発達 交流分析 探偵ゲーム						
	6	自分にあった学習 失恋から立ち直る						
		定期考査 ①						
	7	ストレスの仕組み						
	9	心と体						
後 期	10	やる気はどこから スゴロクトーキング 聞き上手になろう						
		定期考査 ②						
	11	自己主張ができる						
	12	自分のこだわりとつきあう						
	1	助け合い それぞれの生き方						
		定期考査 ③						
	2	様々な障害						
	3	キャリアと進路選択 別れの花束						

科 目 名		心理学演習			単 位 数	①	履修区分	自 由 選 択	
対 象 の 部		午 前 部	午 後 部		使 用 教 科 書 教 材	本校作成プリント			
履 修 の 条 件									
先 生 か ら の ・ ア ド バ イ ス		人とかかわるということは、心理学の要素がいっぱいです。楽しい雰囲気の中で学んでいきましょう。							
評 価 の 観 点		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学ぶ態度			
観 点 の 内 容		評価を行わない		評価を行わない		評価を行わない			
評 価 方 法									
学 期	月	学 習 内 容（単元名）		評 価 規 準					
前 期	4	心理学について 授業の受け方		評価を行わない		評価を行わない		評価を行わない	
	5	お互いを知る							
	6	表現を高める							
		定期考査 ①							
	7	アイディアを出す							
	9	これまでの復習 表現を高める							
後 期	10	相手の意図を読む							
		定期考査 ②							
	11	身体表現力を伸ばす							
	12	聞く力を伸ばす							
	1	協力して課題を解く							
		定期考査 ③							
	2	アイディアを生かす							
		相手をより深く知る							
	3	まとめ							

科 目 名			着付け			単 位 数	②	履修区分	自 由 選 択
対 象 の 部			午 前 部	午 後 部		使 用 教 科 書 教 材		入門初修課程実技編(装道 礼法きもの学院テキスト)	
履 修 の 条 件			履修可能人数20名。						
先 生 か ら の ・ ア ド バ イ ス			実技を中心とした授業になります。必要なものは各自で準備することになります。						
評 価 の 観 点			知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学ぶ態度		
観 点 の 内 容			着物の基本的知識と着装、一人で着装する技術、基本的な礼儀作法を身に付けている。		着物の基本的知識と着装、一人で着装する技術、基本的な礼儀作法・個々に合わせた着装について、適切に判断し、工夫し、創造する能力を身に付けている。		着物の基本的知識と着装、一人で着装する技術、基本的な礼儀作法について関心を持ち、その充実向上を目指して、意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。		
評 価 方 法	学習状況等の観察		◎		◎		◎		
	授 業 中 の 実 技		△		△		△		
学 期	月	学習内容（单元名）	評 価 規 準						
前 期	4	ガイダンス 着物、小物準備 着物の着装説明	着物の基本的知識と着装、一人で着装する技術、基本的な礼儀作法を身に付けている。	着物の基本的知識と着装、一人で着装する技術、基本的な礼儀作法・個々に合わせた着装について、適切に判断し、工夫し、創造する能力を身に付けている。	着物の基本的知識と着装、一人で着装する技術、基本的な礼儀作法について関心を持ち、その充実向上を目指して、意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。				
	5	普段着の着装 反幅帯の結び方							
	6	外出着の着装							
		定期考査 ①							
	7	ゆかたの着装							
	9								
後 期	10	名古屋帯の結び方 袋帯の結び方	着物の基本的知識と着装、一人で着装する技術、基本的な礼儀作法を身に付けている。	着物の基本的知識と着装、一人で着装する技術、基本的な礼儀作法・個々に合わせた着装について、適切に判断し、工夫し、創造する能力を身に付けている。	着物の基本的知識と着装、一人で着装する技術、基本的な礼儀作法について関心を持ち、その充実向上を目指して、意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。				
		定期考査 ②							
	11	礼装着の着装 名古屋帯の結び方 袋帯の結び方							
	12	御茶会							
	1	着付け							
		定期考査 ③							
	2	総合復習							
	3								

科 目 名		手話		単 位 数	②	履修区分	自 由 選 択
対 象 の 部		午 前 部	午 後 部		使 用 教 科 書 教 材	茨城の手話 第一版改訂版 地名手話(社団法人茨城県 聴覚障害者協会)	
履 修 の 条 件							
先 生 か ら の ・ ア ド バ イ ス		手話表現を覚えることで、簡単な日常会話が手話でできるようになります。					
評 価 の 観 点		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学ぶ態度	
観 点 の 内 容		手話表現に関する基本的な知識と技術を理解する。日常使われる手話表現の基本的な技能を身に付け、簡単な日常会話が手話でできる。		日常使われる手話表現の基本的な技能を身に付け、その場に応じた適切な日常会話が手話でできる。		手話を実際に使うことができるように意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	
評 価 方 法	学 習 状 況 の 観 察	◎		◎		◎	
	実 技 テ ス ト	◎		◎		◎	
学 期	月	学 習 内 容 (単 元 名)	評 価 規 準				
前 期	4	日常・動きの表現 物の形・動きの表現 自己紹介	手話表現に関する基本的な知識と技術を理解する。日常使われる手話表現の基本的な技能を身に付け、簡単な日常会話が手話でできる。	日常使われる手話表現の基本的な技能を身に付け、その場に応じた適切な日常会話が手話でできる。	手話を実際に使うことができるように意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。		
	5	名前 住所・県名 日常表現					
	6	天気 家族					
		定期考査 ①					
	7	趣味・スポーツ 数					
	9	自己紹介まとめ 手話コーラス					
後 期	10	校歌練習	手話表現に関する基本的な知識と技術を理解する。日常使われる手話表現の基本的な技能を身に付け、簡単な日常会話が手話でできる。	日常使われる手話表現の基本的な技能を身に付け、その場に応じた適切な日常会話が手話でできる。	手話を実際に使うことができるように意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。		
		定期考査 ②					
	11	会話の練習 疑問文					
	12	日常会話					
	1	手話表現 強調の表現 定期考査 ③					
		言葉の省略					
	2						
	3	まとめ					

科 目 名		社会福祉		単 位 数	①	履修区分	自 由 選 択
対 象 の 部			午 後 部		使 用 教 科 書 教 材	産業社会と人間 (茨城県教育委員会)	
履 修 の 条 件		卒業年次でないことが望ましい。					
先 生 か ら の ・ ア ド バ イ ス		福祉に興味のある方にお勧めします。ボランティアに興味があるけれどもどうしたらよいかわからないといった場合に、ボランティアに参加する時の心構え等を学んだり、実技を行ったりします。授業に積極的に参加し、社会福祉について考える力を身につけてもらいたいです。					
評 価 の 観 点		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学ぶ態度	
観 点 の 内 容		社会福祉の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、社会福祉の意義や役割を理解している。		社会福祉に関する諸問題の解決を目指して自ら考え、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断する能力を身に付けている。		社会福祉に関する問題について関心をもち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むことができる。	
評 価 方 法	学習状況等の観察	○		○		◎	
	提 出 物	○		○		◎	
	定 期 考 査 な ど	◎		○		—	
学 期	月	学 習 内 容 (単元名)		評 価 規 準			
前 期	4	社会福祉とは何か 社会福祉の意義 社会福祉の概念		社会福祉に関する基礎的・基本的な法律を理解している。社会福祉に関する基本的な法律を理解し家庭生活などに生かすことができる。	社会福祉に関する問題の解決を目指して、基礎的・基本的な知識を活用して適切に判断する能力を身に付けている。	社会福祉に関する問題について関心をもち、意欲的に取り組むことができる。	
	5	社会福祉の原理 社会福祉と社会保障 介護・保育実践と社会福祉					
	6	社会福祉を支え、創る人々 ボランティア活動とは					
		定期考査 ①					
	7	ボランティア活動 ボランティアの心					
	9	基本的な介護技術 コミュニケーション					
後 期	10	ベッドメイキング シーツ交換 定期考査 ②		基本的な介護技術に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、介護技術の意義や役割を理解している。	基本的な介護技術に関して、基礎的・基本的な知識や技術を活用して場に応じ適切に判断する能力を身に付けている。	基本的な介護技術について関心をもち、意欲的に取り組むことができる。	
	11	食事介助					
	12	着替え					
	1	高齢者の疾病 身体的な特徴 定期考査 ③					
	2	高齢者の死活障害					
	3	障害者の心理 障害者の心理とは 障害者の生活					

科 目 名		ヨーガ		単 位 数	②	履修区分	自 由 選 択
対 象 の 部			午 後 部		使 用 教 科 書 教 材	これ1冊できちんとわかる ヨガ(マイナビ出版)	
履 修 の 条 件		履修可能人数3～30名。					
先 生 か ら の ア ド バ イ ス		体育時着用のジャージで受講してください。一年間を通して基本的なヨーガの呼吸法やアーサナ(ヨーガのポーズ)、瞑想を学びます。自分のペースで無理せず体を動かしていきます。柔軟性を高めたい人、ヨーガを体験してみたい人は是非履修してみてください。					
評 価 の 観 点		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学ぶ態度	
観 点 の 内 容		評価を行わない		評価を行わない		評価を行わない	
評 価 方 法							
学 期	月	学習内容（单元名）	評 価 規 準				
前 期	4	ヨーガ1	評価を行わない	評価を行わない		評価を行わない	
	5	ヨーガ2					
	6	ヨーガ3					
		定期考査 ①					
	7	ヨーガ4					
	9	ヨーガ5					
後 期	10	ヨーガ6					
		定期考査 ②					
	11	ヨーガ7					
	12	ヨーガ8					
		ヨーガ9					
	1	定期考査 ③					
	2	ヨーガ10					
	3	ヨーガ11					

科 目 名		社会人基礎			単 位 数	①	履修区分	自 由 選 択
対 象 の 部		午 前 部	午 後 部	夜 間 部	使 用 教 科 書 教 材		最新版 楽しく学べるマナーの基本(教育図書)	
履 修 の 条 件								
先 生 か ら の ・ ア ド バ イ ス		高校卒業後には、大人のふるまいを求められる場面が多くあります。この科目では、社会生活における「マナー」の基本を学ぶとともに、「思いやりを形にして表現すること」を体現できるような学習をしていきます。						
評 価 の 観 点		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学ぶ態度		
観 点 の 内 容		評価を行わない		評価を行わない		評価を行わない		
評価 方法								
学期	月	学習内容（単元名）		評 価 規 準				
前 期	4			評価を行わない		評価を行わない		評価を行わない
	5							
	6							
		定期考査 ①						
	7							
	9							
後 期	10							
		定期考査 ②						
	11							
	12							
	1							
		定期考査 ③						
	2							
	3							

科 目 名		陶芸Ⅰ		単 位 数	②	履修区分	自 由 選 択
対 象 の 部		午 前 部	午 後 部		使 用 教 科 書 教 材	本校作成プリント等	
履 修 の 条 件		履修可能人数3～12名					
先 生 か ら の ・ ア ド バ イ ス		無心になって土をこね、一つの作品を生み出す達成感や喜びを味わってほしい と思います。また、集中力・粘り強さを養うこともできます。					
評 価 の 観 点		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学ぶ態度	
観 点 の 内 容		意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。		身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。		主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	
評 価 方 法	提 出 物	○		○		○	
	学習状況等の観察	○		○		○	
学 期	月	学習内容（单元名）		評 価 規 準			
前 期	4	土練り		意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。 A・B・Cの評価段階基準に関しては教科担当者から授業を通じて説明する。	身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 A・B・Cの評価段階基準に関しては教科担当者から授業を通じて説明する。	主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。 A・B・Cの評価段階基準に関しては教科担当者から授業を通じて説明する。	
	5	湯呑み茶碗					
	6	花瓶					
		定期考査 ①					
	7						
	9						
後 期	10	ランプ		意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。 A・B・Cの評価段階基準に関しては教科担当者から授業を通じて説明する。	身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 A・B・Cの評価段階基準に関しては教科担当者から授業を通じて説明する。	主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。 A・B・Cの評価段階基準に関しては教科担当者から授業を通じて説明する。	
		定期考査 ②					
	11	ろくろ					
	12						
	1	自由制作					
		定期考査 ③					
	2						
	3						

科 目 名		陶芸Ⅱ		単 位 数	②	履修区分	自 由 選 択
対 象 の 部		午 前 部	午 後 部		使 用 教 科 書 教 材	本校作成プリント等	
履 修 の 条 件		陶芸Ⅰを修得済みであること。履修可能人数3～12名					
先 生 か ら の ア ド バ イ ス		作品展に出展するための作品づくりをします。陶芸Ⅰの応用で、いろいろな角度でものを見て、自己表現にむすびつけていってほしいと思います。					
評 価 の 観 点		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学ぶ態度	
観 点 の 内 容		意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。		身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。		主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	
評 価 方 法	提 出 物	○		○		○	
	学習状況等の観察	○		○		○	
学 期	月	学習内容（单元名）		評 価 規 準			
前 期	4	自由制作		意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。 A・B・Cの評価段階基準に関しては教科担当者から授業を通じて説明する。	身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 A・B・Cの評価段階基準に関しては教科担当者から授業を通じて説明する。	主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。 A・B・Cの評価段階基準に関しては教科担当者から授業を通じて説明する。	
	5						
	6						
		定期考查 ①					
	7						
	9						
後 期	10	ろくろ		意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。 A・B・Cの評価段階基準に関しては教科担当者から授業を通じて説明する。	身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 A・B・Cの評価段階基準に関しては教科担当者から授業を通じて説明する。	主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。 A・B・Cの評価段階基準に関しては教科担当者から授業を通じて説明する。	
		定期考查 ②					
	11						
	12						
	1						
		定期考查 ③					
	2						
	3						

科 目 名		総合的な探究の時間 1		単 位 数	1	履修区分	必 履 修
対 象 の 部		午 前 部	午 後 部	夜 間 部	使 用 教 科 書 教 材	本校作成プリント	
履 修 の 条 件							
先 生 か ら の ア ド バ イ ス		探究の手法を学んだうえで、学校生活を通して自分自身を見つめるとともに、周囲の人々との関わりについて考える機会にしましょう。					
評 価 の 観 点		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学ぶ態度	
観 点 の 内 容		評価を行わない		評価を行わない		評価を行わない	
評 価 方 法							
学 期	月	学 習 内 容 (単 元 名)		評 価 規 準			
前 期	4			評価を行わない		評価を行わない	
	5	2年次生から発表					
	6						
		定期考査 ①					
	7						
	9	探究とは テーマ探し					
後 期	10						
		定期考査 ②					
	11						
	12	進路について					
	1						
		定期考査 ③					
	2	発表準備 発表練習					
3							

科 目 名		総合的な探究の時間2			単 位 数	1	履修区分	必 履 修
対 象 の 部		午 前 部	午 後 部	夜 間 部	使 用 教 科 書 教 材		本校作成プリント	
履 修 の 条 件								
先 生 か ら の ・ ア ド バ イ ス		自己理解を深めることで、社会との関わり方を考えてみましょう。そこから、進路実現の方法を探してみましょう。						
評 価 の 観 点		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学ぶ態度		
観 点 の 内 容		評価を行わない		評価を行わない		評価を行わない		
評 価 方 法								
学 期	月	学 習 内 容 (単元名)		評 価 規 準				
前 期	4			評価を行わない		評価を行わない		評価を行わない
	5							
	6							
		定期考査 ①						
	7							
	9							
後 期	10							
		定期考査 ②						
	11							
	12							
	1							
		定期考査 ③						
	2							
	3							

科 目 名		総合的な探究の時間3			単 位 数	1	履修区分	必 履 修
対 象 の 部		午 前 部	午 後 部	夜 間 部	使 用 教 科 書 教 材		本校作成プリント	
履 修 の 条 件								
先 生 か ら の ・ ア ド バ イ ス		希望進路を具体化し、進路実現に向けて実践に取り組んでみましょう。さらには、社会に出る前の準備をしましょう。						
評 価 の 観 点		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学ぶ態度		
観 点 の 内 容		評価を行わない		評価を行わない		評価を行わない		
評 価 方 法								
学 期	月	学 習 内 容（単元名）		評 価 規 準				
前 期	4	面接問答集		評価を行わない		評価を行わない		評価を行わない
	5	志望動機の書き方						
	6	求人票の見方						
		定期考査 ①						
	7	見学先を選ぶ						
	9	面接練習						
後 期	10	入社試験 入試対策						
		定期考査 ②						
	11	入社試験 入試対策						
	12	着こなし講座 マナー講座						
	1							
		定期考査 ③						
		進路体験談（4修生）						
	2							
	3	1年間のまとめ （4修生）						